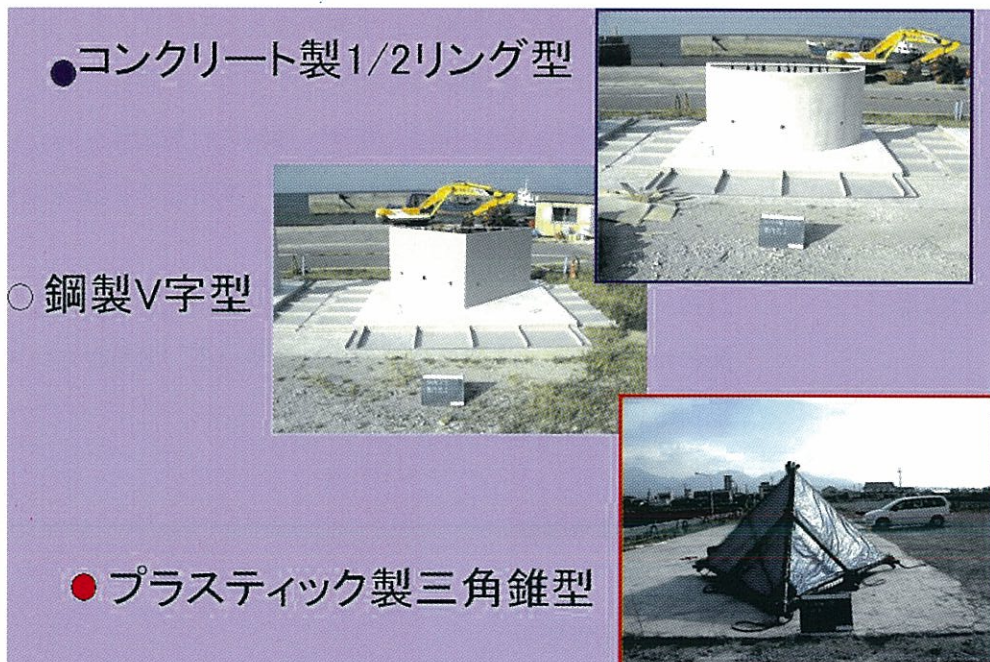
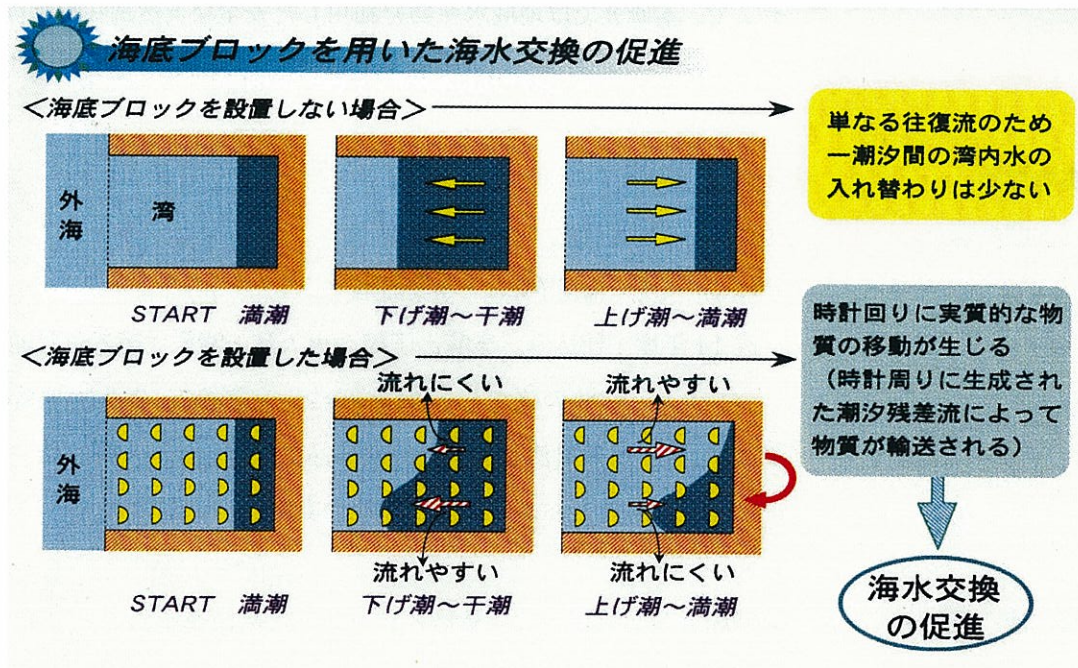


# 潮流制御ブロックによる海水交換技術

事業名 平成13年度提案公募型有明地域等緊急振興対策研究開発

課題名 有明海潮流制御ブロックによる漁場回復技術の研究開発





## 事業概要

### ● 事業の背景および目的

九州大学において既に効果を確認済みの潮流制御ブロックによる海水交換促進技術を有明海に適用するため、軟弱地盤用潮流制御ブロックの開発を行う。さらにその適正配置の検討、機能の効果確認を行うことで、有明海の漁場環境を回復する技術の確立を目的とする。

### ● 事業実施期間および内容 平成13年度～15年度

項目	平成13年度	14年度	15年度
軟弱地盤用潮流制御ブロックの開発	---	—	
沈下状況調査		—	—
魚礁効果調査		—	—
湧昇流効果調査		—	—
有明海の流況調査			—
潮流シミュレーション			—
水理模型実験			—

### ● 事業の実施場所

長崎県諫早市小長井町地先海域（潮流制御ブロックを設置した海域）

### ● 主な成果

- 諫早湾における海域実験により、軟弱地盤においてローコストで大量生産可能な潮流制御ブロックの実用が可能となった。
- 潮流シミュレーションおよび水理模型実験により、潮流制御ブロックを長洲（熊本県）～多以良（長崎県）ライン上に集約的に配置することで、北部有明海の海水交換が確認された。
- 経済的な配置パターンとして、数千個程度でも十分に効果が期待でき、有明海再生事業として十分提案できると考えられる。

### ● 研究成果の応用範囲

閉鎖性水域の水質改善

### ● 実施組織名

芙蓉海洋開発株式会社 東栄商興株式会社 粕谷製網株式会社

### ● 指導・協力機関

九州大学 長崎大学 熊本県立大学 長崎県総合水産試験場  
株式会社産学連携機構九州 小長井町漁業協同組合